

第4章

調和の中でふるさとを演出するまち

交通・情報・都市景観・
市街地整備・公営住宅・
上水道・公園



- 機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ
- 交通輸送体系の整備
- 情報・通信体制の整備
- 情報化の推進
- 美しい都市景観の創造
- 住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保
- 水道事業などの推進
- 公園の整備

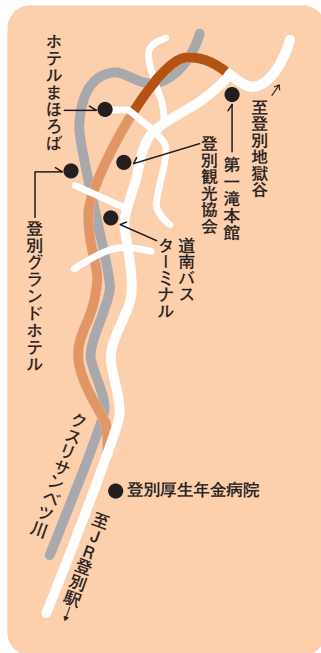


機能的な交通・情報ネットワークで活力とふれあいを運ぶ

※道路整備では、総額6億350万円の市債を借り入れて実施。このうち、4億8千770万円についてはその元利償還金の30%、残りの1千950万円については50%が後年度、普通交付税で市に交付されます。

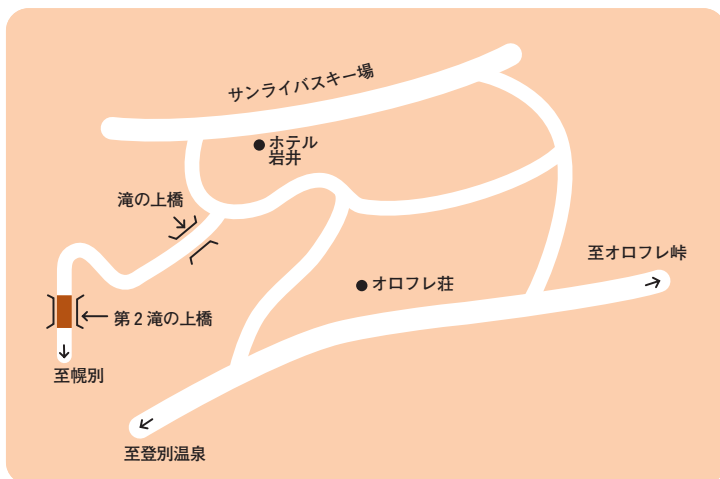
登別温泉バイパス（道道倶多楽湖公園線）の整備（北海道事業）
15億円（うち道14億9千900万円）

平成14年度から、ホテルまほろば付近から第一滝本館付近までの用地買収と移転補償などを行っています。



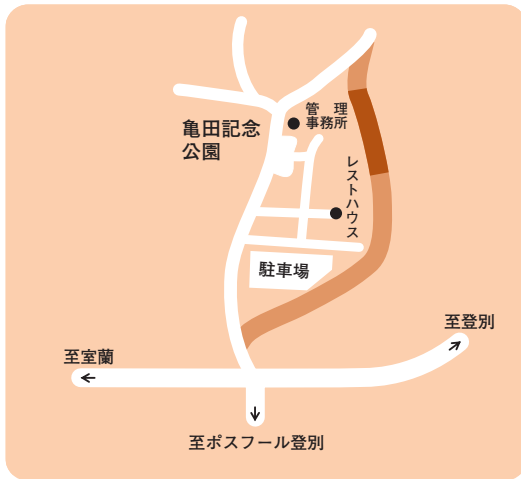
カルルス路線の改良（うち国4千500万円）
7千530万円

カルルス町付近に架かる『第2滝の上橋』の整備などを行います（延長30㍎、幅員7・5㍎）。



富岸西路線の改良 1億1千530万円
(うち国6千900万円)

亀田記念公園内の西富岸川に架かる『富岸西路線2号橋』(延長19・6㍎、幅員7・5㍎+2・5㍎)の整備などを行います。



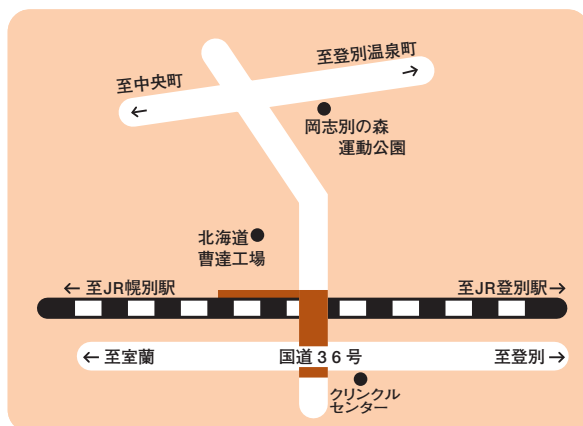
東札内線の改良 1千300万円

富浦墓地から札内町への道路の一部(延長40㍎、幅員7・5㍎)の改良舗装を行います。



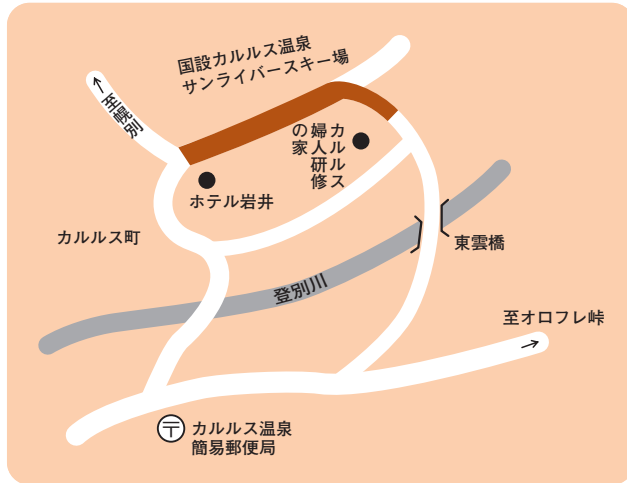
中央通りの改良 2億5千350万円
(うち国1億2千960万円)

国道36号からJR踏切までの道路改良(延長140㍎、幅員16㍎)や踏切改良(延長12㍎、幅員16㍎)・排水(延長80㍎)の整備を昨年に引き続き行います。





第4章 調和の中でふるさとを演出するまち



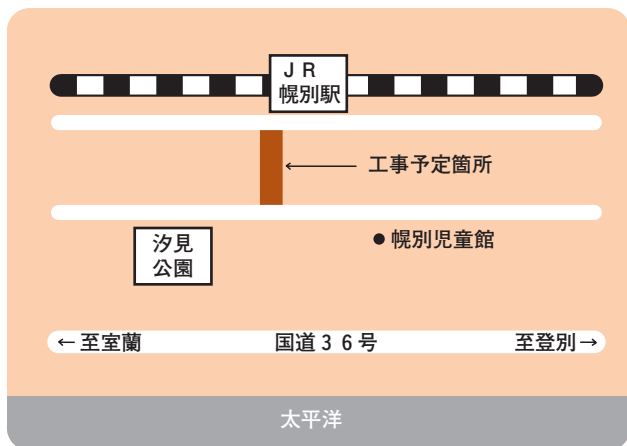
カルルス東雲線外1の改良 1千235万2千円 (うち国903万9千円)

カルルス婦人研修の家からホテル岩井付近の道路の一部(延長300㍎、幅員7・5㍎)の改良・舗装を平成15・16年度の2カ年で行います。



登別6号線の改良 4千600万円

登別本町2丁目の花園運動ひろば付近の道路の一部(延長134㍎、幅員8㍎)の改良舗装や用地買収などを行います。

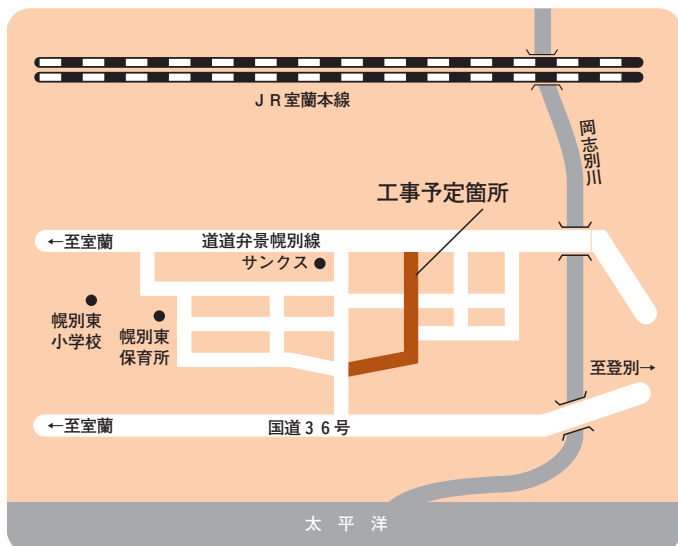


幌別22号線の改良 1千400万円

幌別駅東口前の道路の一部(延長46㍎、幅員13㍎)の改良舗装を行います。

幌別25号線の改良（地方改善施設整備） 2千100万円（うち国1千50万円）

幌別東団地から道道弁景幌別線に通じる道路の改良舗装の整備を行います。



市道舗装排水整備 2億8千600万円

市道の改良・舗装や排水整備を行います。

橋梁の維持補修 356万円

橋の補修工事などを行います。

交通輸送体系の整備

地方生活バス路線維持費への補助 838万8千円

市民生活に必要なバス路線の維持が自家用車の普及により困難になっていることから、国や北海道と適切な役割分担を図りながら、乗合バス事業者に対して補助金を交付し、バス路線を維持します。

鉾山地域住民タクシー助成 81万5千円

鉾山地域住民の交通の便を確保する

ため、タクシー料金の一部を助成します。

情報・通信体制の整備

広報広聴活動 2千288万3千円

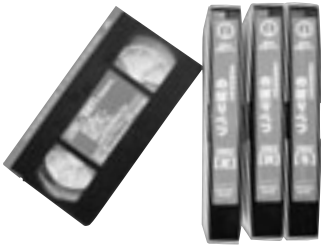
・広報のぼりべつの発行…市の財政状況や行おうとする事業・プロジェクト、直面している課題などについて、写真や図などを用いて分かりやすく紹介する特集を組むほか、活躍している市民や催し、お知らせ、募集などを掲載した広報紙を毎月1日に発行します。



・ふるさと通信『湯かげん』の発行：首都圏在住の登別市出身者やゆかりのある方を対象に、ふるさと『のぼりべつ』の近況などをお知らせする『湯かげん』を発行します。



・広報ビデオの制作：市内で行われる行事や事業などを季節ごとにまとめた広報ビデオなどを制作し、市内の公共施設で随時放映するほか、申込者に貸し出します。



・各種懇談会の開催：市が直面している問題や地域問題などについて、連合町内会単位で市長をはじめ、市の部長職などと話し合う『市政懇談会』や『地区懇談会』を開催するほか、まちづくりなどについて市長とひざを交えて話し合う『市長室フリータイム』、グループ単位で市長と懇談する『ふれあい懇談会』、市職員が地域の抱える問題を町内会単位できめ細かくお聞きする『地区課題の把握』、市職員が市の事業や制度について分かりやすく紹介する『市職員出前フリートーク』を開催し、情報の共有化と意見・提案の集約を図ります。

・見学会の開催：市民や市内の団体を対象に、公共施設やまちの産業などを見学する『市民見学会』を春と秋の年2回開催するほか、室蘭・伊達市と共同でそれぞれの市の公共施設や産業などを見学する『三市合同施設見学会』を年1回開催します。



▲市民見学会



▲地区懇談会

まちづくりカタログの発行 473万
7千円

市政情報の根幹である予算を基本に、市がどのような事業に取り組んでいるのかを総合的にお知らせする『まちづくりカタログ』（みなさんが今見ているこの冊子です）を発行します。

▼問い合わせ 情報推進課（広報広聴）
(☎6586)

登別市ホームページの充実

ホームページを活用して市政情報の受発信機能を高めます。

▼ホームページアドレス
<http://www.city.noboribetsu.hokkaido.jp>



▲登別市ホームページのトップページ

情報化の推進

OA化の推進(市役所業務) 2千
146万8千円

市庁舎事務所内にパソコンなどを計画的に設置し、コンピュータネットワークなどの情報通信技術を事務に取り入れて、事務の効率化・高度化を図ります。

財務会計システムの管理 448万6
千円

市の予算の歳入や歳出などをコンピュータで管理し、財務会計事務処理の効率化・省力化・迅速化を進めます。

行政事務のコンピュータ処理に要
する経費 5千402万4千円

住民記録や印鑑登録、税、国民年金、国民健康保険、介護保険、児童手当、し尿処理手数料、上下水道料金などの事務をコンピュータで処理し、行政事務の効率化・迅速化を図ります。

地域情報センターの運営 979万4
千円

登別中央ショッピングセンター・アーニスの2階に設置した地域情報センター(愛称『DIP』)は、インターネット接続や各種アプリケーションソフト、映像装置を設置するなど市民が情報通信技術に親しめる拠点です。

本年度は市民が気軽にパソコンに親しめるよう、各種パソコン講座を開催します。

・地域情報センター事業費：28万2千
円
・地域情報センター維持管理経費：951
万2千円



▲パソコン講習会



▲地域情報センター受付

総合行政ネットワークの整備 1
千70万円

全国の地方自治体を相互に接続することで、電子自治体推進のための情報基盤として活用するとともに、地方公共団体相互や国の各府省、住民などの情報交換・共有による事務の効率化と住民サービスの向上を図ります。

地域イントラネットの維持管理
2千46万5千円

市内小・中学校や市役所などの公共施設37カ所を結ぶ光ファイバーネットワーク機材などの保守と、適切な運用を図ります。

住民基本台帳ネットワークシステムの構築 1千692万2千円

住民基本台帳のネットワーク化を図り、市民が全国各地でも住民票の写しの交付と転入転出の特例が受けられるシステムの構築を行います。

戸籍や住民票などの交付 610万5千円

戸籍や住民票、印鑑登録の交付などを行います。

テレビジョン中継局の維持管理
251万円

テレビの難視聴を解消するために、鷲別・幌別・登別の3カ所に設置したテレビジョン中継局の保守点検や補修などを行います。



▲幌別テレビジョン中継局（中央町3丁目）

美しい都市景観の創造

まちづくりアクションプランの推進 160万円

都市づくりを進める上で互いに密接な関係にある3つの計画、土地利用や交通施設、公共施設の在り方を盛り込んだ『都市計画マスタープラン』、まち並みや自然景観の形成などの方向性を示した『景観形成基本計画』、みどりの保全や緑化推進、公園や広場の整

備に関する指針となる『みどりの基本計画』を総称する『まちづくりアクションプラン』。

同プランは、将来の都市づくりについて多くの市民の参画を得ながら、昨年度計画をとりまとめました。

本年度は、同プランの概要パンフレットを作成します。

都市計画審議会の運営 23万4千円

市が行う都市計画決定や都市計画に関する事項の調査審議を行います。委員は市民や学識経験者など12人が委嘱されています。

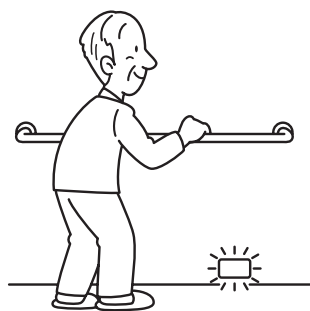
住みよい市街地の整備と宅地・住宅の確保

地籍調査 303万4千円（うち道119万2千円）

市内の土地について、所有者や地番、地目の調査・測量を行い、地図などを作成します。

高齢者などに配慮した市営住宅改善 225万円

市営住宅に居住する高齢者や身体に障害のある方が、日常生活を過ごしやすいよう住宅内の段差解消や玄関・トイレ・浴室への手すり取り付けなどの改善を行います。



公営住宅の常時補修 1億21万3千円

修繕などが必要な公営住宅の補修を行います。

道営住宅 1千678万3千円

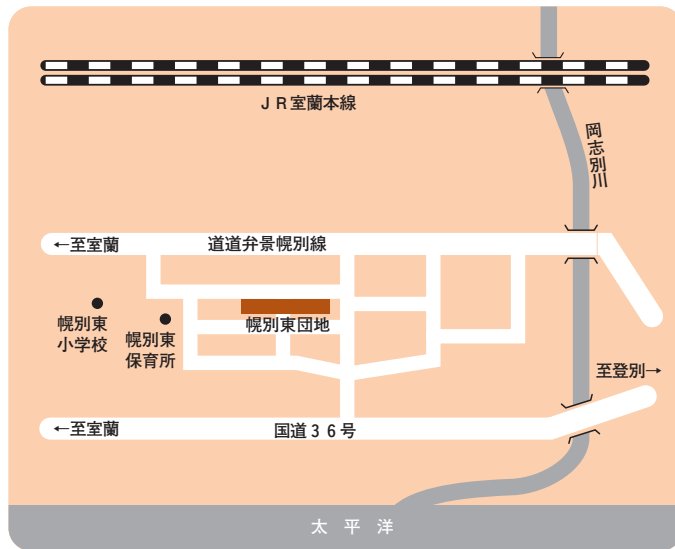
市営住宅 8千343万円

市営住宅（幌別東団地）の建て替え 4千174万円（うち国2千86万6千円）

市営住宅ストック総合活用計画に基づいて、本年度は、幌別東団地の建て替えとして実施設計や地質調査、移転助成を行います。

また、現在8棟32戸ある住宅のうち平成16年度に4棟16戸を解体し、平成16・17年度で1棟20戸（エレベーター付き）の住宅に建て替えます。

平成17年度で残りの4棟16戸を解体し、平成18・19年度に1棟24戸の住宅に建て替える予定です。



水道事業などの推進

水道事業の運営

(人件費2億1千111万6千円)

水道施設の整備 4億8千276万3千円

老朽化した配水管の整備(改良、移設など)や配水池の建設のほか、水道メーターの購入や取り替え工事などを行います。

・送配水施設の整備: 3億8千400万円
・浄水施設・水道メーター設備: 9千876万3千円

原水・浄水に係る施設の維持管理 2億3千561万9千円

室蘭市から浄水を購入するほか、浄水場の補修などを行います。

配水施設・給水装置の維持管理 3千475万3千円

配水池や配水管、ポンプ設備などの管内漏水修繕などを行います。

消火栓の新設などの受託工事 1千556万円

市消防本部などからの依頼により消火栓の新設・修繕工事や給・配水管の漏水修繕などの工事を行います。

水道メーター検針と料金徴収 1千569万9千円

簡易水道施設の管理 2千990万1千円(うち道160万円)

札内地区を中心とした給水区域内の方に、良質な水を安定供給するため、減圧弁の取り替えや浄水場ろ過池の清掃などを行います。

公園の整備

公園の再整備 6千81万6千円

地域住民参加のもと、使いやすく親しみやすい公園づくりを行います。

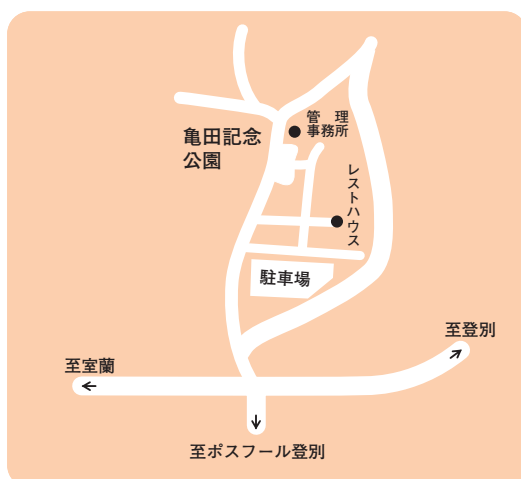
・若草公園の便所建替及び水洗化…1千650万円

※1千230万円の市債を借り入れて実施。この市債にかかる元利償還金の30%が後年度、普通交付税で国から市に交付されます。



・亀田記念公園の整備…4千431万6千円

オストメイト対応便所を新設するとともに、売店や倉庫、管理事務所の改修のほか、外構工事などを行います。



公園の維持管理 1億37万4千円

川上公園や亀田記念公園、富岸公園など、市内の117カ所の公園や広場の遊具、照明灯、水道施設などを維持管理します。

街区公園などの清掃 71万円

清掃や草刈りなど、公園や広場の維持管理業務の一部を町内会に協力していただき、交付金を交付します。

▼問い合わせ 都市計画課

(☎) 41115